

万富東大寺瓦窯跡と備前の瓦窯

岡本芳明

【講座の概要】

万富東大寺瓦窯跡は、「源平の戦い」で焼失した東大寺の再建瓦を製造した窯跡で、14 基の瓦窯や操業当時の礎石建物跡、工房跡などが確認されている。瓦は、大仏殿のみではなく中門や回廊、南大門、鐘楼にも使用され、30～40 万枚の瓦が生産されたといわれる。

万富東大寺瓦窯跡の所在する備前地域には、30 数か所の瓦窯が確認されているが、発掘調査が行われている事例は少ない。今回は、構造的特徴が判明している備前の瓦窯を紹介し、万富東大寺瓦窯跡の瓦窯と比較したい。

○賞田廃寺の瓦窯（岡山市中区賞田）

ドーム状の天井をもつ窖窯。賞田廃寺第Ⅴ様式の瓦や須恵器を焼成した瓦陶兼業窯。奈良時代後半。

○幡多廃寺の瓦窯（岡山市中区赤田）

焼成室内には 6 条の分焰牀をもつ有牀式平窯。瓦専業窯。平安時代後葉のほぼ 12 世紀末に操業。

○勘定口窯跡（瀬戸町塩納）

残存長約 10m の窖窯。瓦が主体の瓦専業窯か？ 12 世紀から 13 世紀頃に操業。

○医王山東麓窯跡群 2 号窯（備前市伊部）

国史跡「伊部西大窯跡」周辺に所在。坊が谷窯跡として知られてきた窯。長さ約 11m の半地下式窖窯。瓦陶兼業窯で、平安時代後半から鎌倉時代初期の操業。平城宮系軒平瓦を香登廃寺に供給か。

○泉瓦窯跡（和気町泉）

分焰牀を備える特異な構造をもつ半地下式窖窯。瓦専業窯。焼成された軒平瓦が備前国分寺で出土。万富東大寺瓦窯跡出土瓦と製作手法が類似。平安時代末から鎌倉時代初期に操業。

●万富東大寺瓦窯跡（瀬戸町万富）

鎌倉時代初めの東大寺再建瓦を製造した窯跡。2 条の分焰牀を持つ半地下式平窯。窯と窯の間には、排水溝と思われる溝や屋蓋施設の痕跡と思われる柱穴がある。窯は 5・6 基でまとまって操業していたようで、大規模に組織的に瓦製作が行われていた。

○清水廃寺の瓦窯（岡山市北区芳賀）

焼成途中で放棄された瓦窯。分焰牀を持つ半地下式平窯。時期は概ね 15 世紀後半。

○不老山東口窯跡（備前市伊部）

国史跡「備前北大窯」周辺に位置。推定全長約 40 m の長大な窖窯。分焰柱があったとされる。北に隣接した同規模の窯跡とともに溝や土塁で囲まれている。瓦陶兼業窯で、室町時代後半に属するもの。

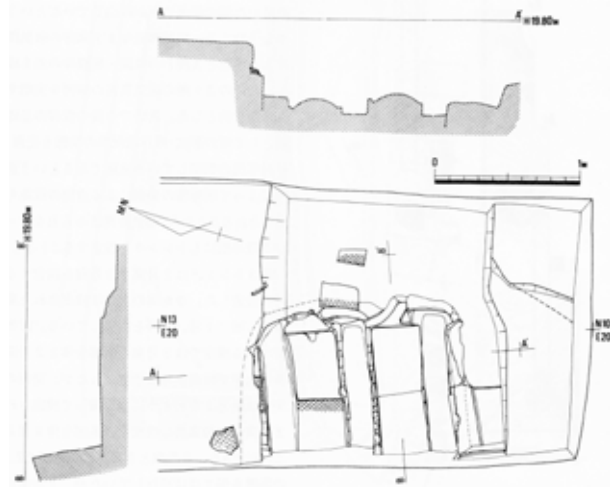
【交通】万富東大寺瓦窯跡：JR 山陽本線「万富駅」から北東へ徒歩約 400m

【引用・参考文献】

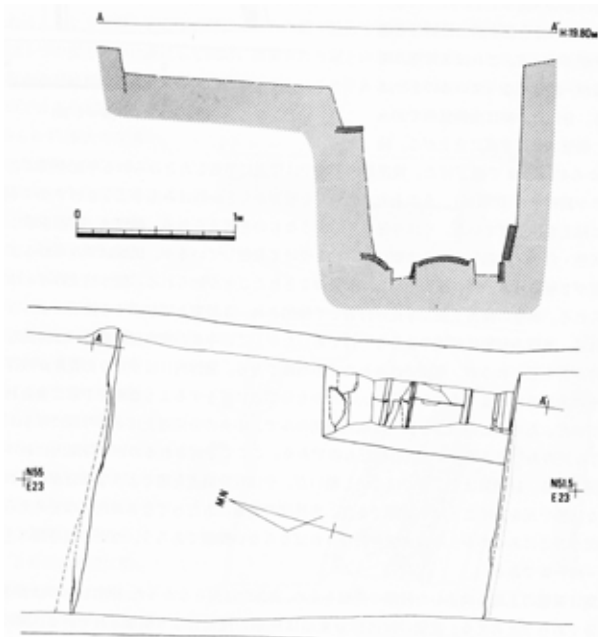
- 『岡山市史 古代編』岡山市 1962 「備前焼研究ノート（1）～（4）」『倉敷考古館研究集報 1・2・5・18』1966・1966・1968・1984
『瀬戸町誌』瀬戸町 1985 『備前市の文化財』備前市教育委員会 1987 「和気氏寺の予察的小考」『古代吉備』第 11 集 古代吉備研究会 1989
『服部廃寺』長船町埋蔵文化財発掘調査報告 2 長船町教育委員会 1997 「考古」『長船町史 史料編（上）』長船町 1998 『長船町史 通史編』長船町 2001
『史跡万富東大寺瓦窯跡確認調査報告』瀬戸町教育委員会 2003
『伊部南大窯跡周辺窯跡群確認調査報告書 1』備前市埋蔵文化財調査報告 5 備前市教育委員会 2003
『改訂岡山県遺跡地図第 9 分冊東備地区・岡山地区』岡山県教育委員会 2003 「清水廃寺」『岡山市埋蔵文化財センター年報 4』岡山市教育委員会 2005
『邑久町史 考古編』瀬戸内市 2006 『吉備の古代寺院』吉備考古ライブラリ 13 吉備人出版 2006
『備前窯詳細分布調査報告書』備前市埋蔵文化財調査報告 11 備前市教育委員会 2013 『備前邑久窯跡群の研究』岡山理科大学考古学研究室 2014
『岡山県の重圏文系軒瓦』『古代瓦研究 VI』奈良文化財研究所 2014
『泉瓦窯跡・万富東大寺瓦窯跡』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 37 岡山県教育委員会 1980（図 2・3・4・5・9）
『賞田廃寺発掘調査報告』岡山市教育委員会 1971（図 6）
『幡多廃寺発掘調査報告書』岡山市教育委員会 1975（図 7）
『医王山東麓窯跡群発掘調査報告書』備前市埋蔵文化財調査報告 9 備前市教育委員会 2012（図 8）
『不老山古備前窯跡』『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 1』岡山県教育委員会 1972（図 10）



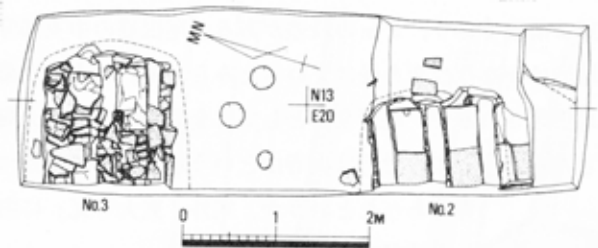
第1図 東大寺軒丸瓦拓本



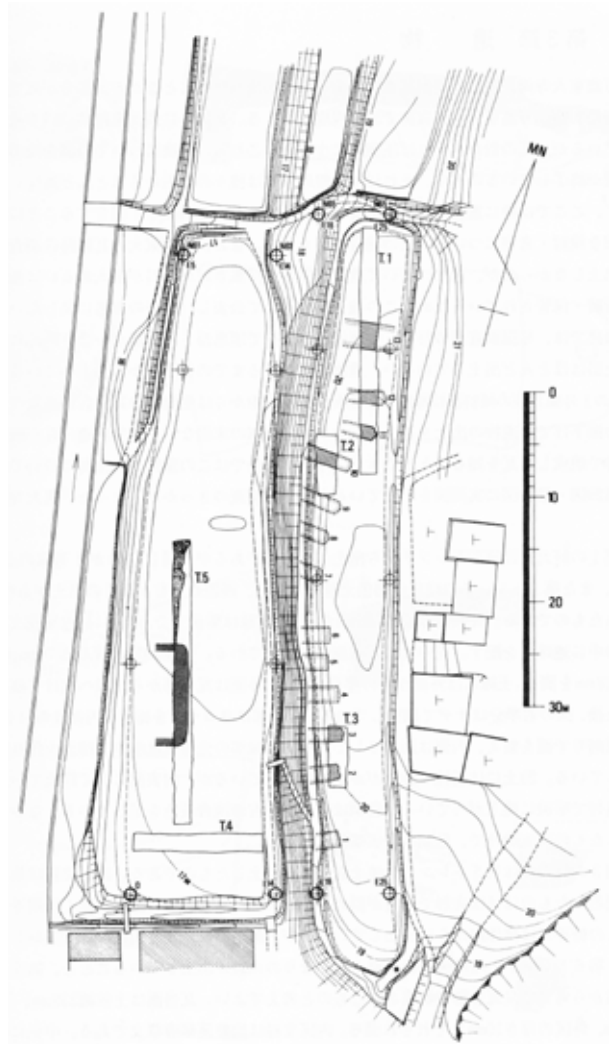
第2図 万富瓦窯2号窯実測図



第3図 万富瓦窯13号窯実測図



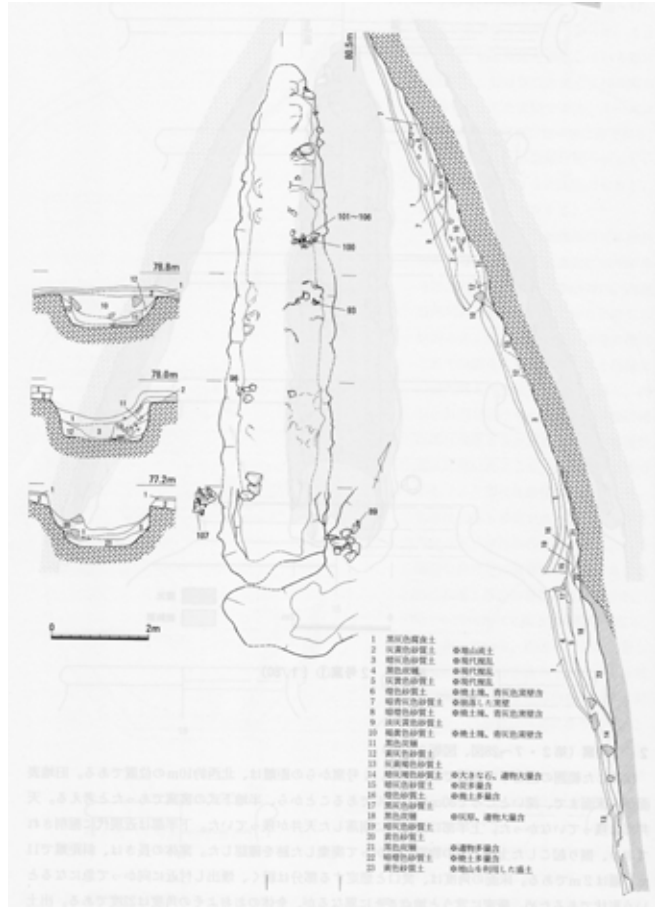
第4図 第3トレンチ実測図



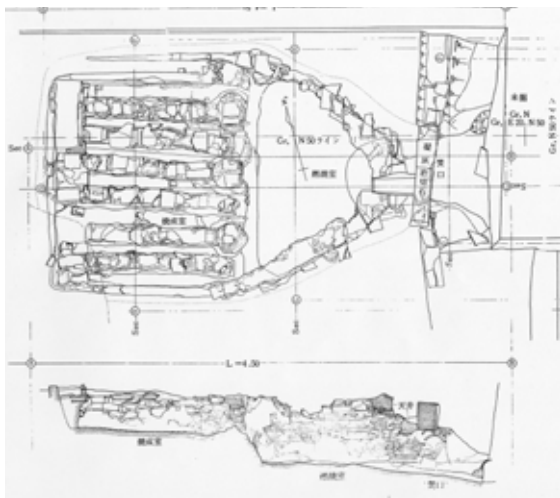
第5図 万富東大寺瓦窯跡遺構配置図



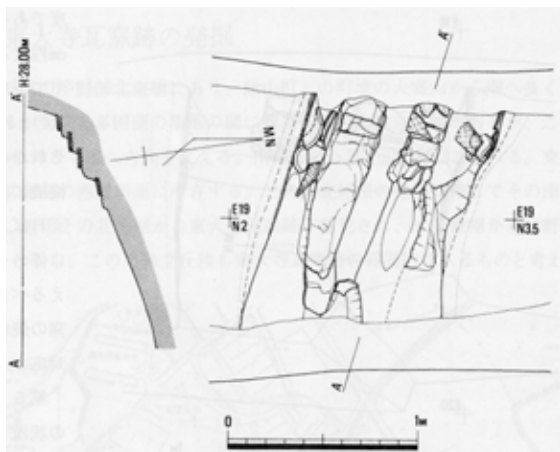
第6図 賞田廃寺の瓦窯



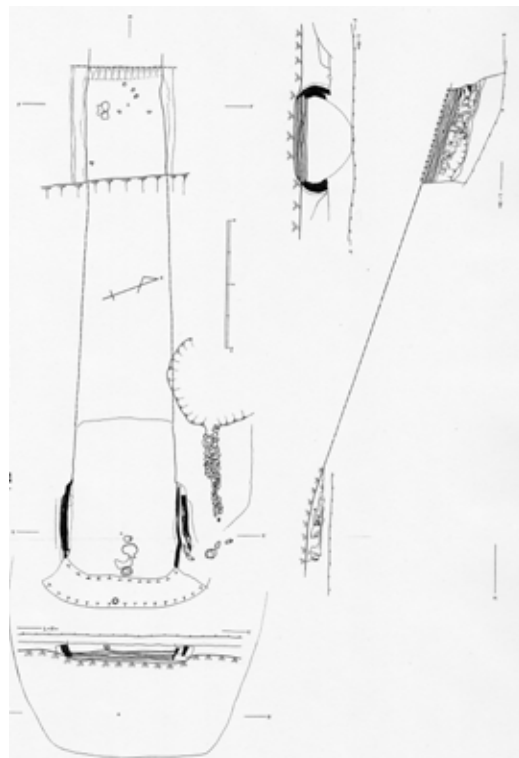
第8図 医王山東麓窯跡群2号窯実測図



第7図 幡多廃寺の瓦窯実測図



第9図 泉瓦窯1号窯実測図



第10図 不老山東口窯跡実測図

表1 備前の瓦窯

名称	所在地	郡	形態	主な遺物	主な供給先	時代	
勘定口窯跡(勘定口2号窯)	瀬戸町	塩納	磐梨郡	瓦陶兼? 宍窯	瓦・備前焼	平安～鎌倉	発掘
大谷窯跡	瀬戸町	鍛冶屋	磐梨郡	瓦陶兼	須恵器・瓦	平安～鎌倉	消滅
五反田窯跡	瀬戸町	南方	磐梨郡	瓦専業?	瓦	平安～鎌倉	
万富東大寺瓦窯跡	瀬戸町	万富	磐梨郡	瓦専業 平窯	瓦	鎌倉	発掘
妙見山下窯跡	瀬戸町	塩納	磐梨郡	瓦専業?	瓦	鎌倉	
ばかしよ窯跡	瀬戸町	宗堂	磐梨郡	瓦陶兼?	須恵器・瓦	鎌倉	
寺山窯跡	瀬戸町	南方	磐梨郡	瓦専業?	瓦	鎌倉	
湯の奥窯跡(徳王寺窯跡)	瀬戸町	肩背	磐梨郡	瓦専業?	瓦	鎌倉	
上の段窯跡(富原瓦窯跡)	岡山市	津高	津高郡	瓦専業 宍窯	瓦	富原北廃寺?	奈良
賞田廃寺の窯跡	岡山市	賞田	上道郡	瓦陶兼 宍窯	瓦・須恵器	賞田廃寺	奈良 発掘
幡多廃寺の瓦窯	岡山市	赤田	上道郡	瓦専業 平窯	瓦	幡多廃寺?	平安 発掘
清水廃寺	岡山市	芳賀	津高郡	瓦専業 平窯	瓦	清水廃寺	室町 発掘
飼菜瓦窯跡(湊谷池窯跡)	和気町	吉田	和気郡	瓦専業 宍窯	瓦	藤野廃寺?	奈良～平安
田原下峠瓦窯跡	和気町	田原下	和気郡	瓦専業	瓦		平安 消滅?
泉瓦窯跡	和気町	泉	和気郡	瓦専業 宍窯	瓦	備前国分寺跡	平安～鎌倉 発掘
福富窯跡	和気町	福富	和気郡	瓦専業			—
生砂池窯跡(産土池窯跡)	長船町	磯上	邑久郡	瓦専業? 宍窯?	瓦・埴・須恵器	服部廃寺創建時	奈良
正伝名池窯跡	長船町	磯上	邑久郡	瓦専業? 宍窯?	瓦	服部廃寺創建時?	奈良
奥池中池2号窯跡	長船町	西須恵	邑久郡	瓦専業? 宍窯?	瓦	須恵廃寺?	奈良
新池窯跡	長船町	磯上	邑久郡	瓦専業? 宍窯?	瓦・須恵器	服部廃寺?	奈良～室町
油杉窯跡群(高山3号窯跡?)	長船町	磯上	邑久郡	瓦陶兼 宍窯?	須恵器・瓦	備前国分寺差替瓦?	平安
福谷湯通窯跡	邑久町	福谷	邑久郡	瓦陶兼 宍窯?	須恵器・瓦		平安
福谷奥田窯跡	邑久町	福谷	邑久郡	瓦陶兼 宍窯?	須恵器・瓦		平安
佐山新池窯跡(群)	備前市	佐山	和気郡	瓦陶兼? 宍窯	須恵器・瓦・瓦塔		奈良 発掘
伊部南大窯東4号窯跡	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦	服部廃寺?	平安 発掘
大が池南窯跡	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦		平安
医王山東麓窯跡群2号窯(坊が谷窯跡)	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦	香登廃寺	平安～鎌倉 発掘
大明神窯跡	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦	霊山寺跡	平安～鎌倉
片口団地窯跡(古)	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯?	備前焼・瓦		平安～鎌倉
若林山窯跡	備前市	西片上	和気郡	瓦陶兼 宍窯?	備前焼・瓦		平安～鎌倉
瀬戸谷2号窯跡(福田越2号窯跡)	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯?	備前焼・瓦		平安～鎌倉
稲荷山窯跡(二つ塚窯跡)	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦		平安～鎌倉
大内東山窯跡	備前市	—	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦		平安～鎌倉
ホーロク岩西谷窯跡	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦		鎌倉
不老山東口窯跡(群)	備前市	伊部	和気郡	瓦陶兼 宍窯	備前焼・瓦		室町 発掘
関谷焼窯跡	備前市	関谷	和気郡	瓦陶兼 宍窯	関谷焼・瓦	関谷学校	江戸